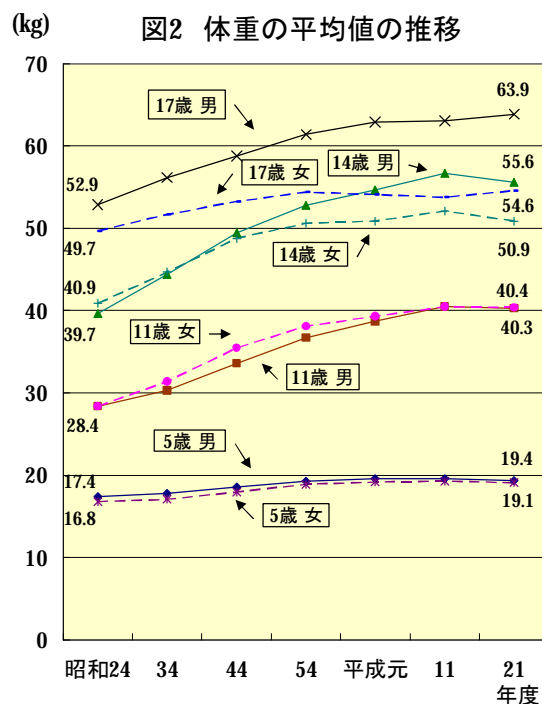
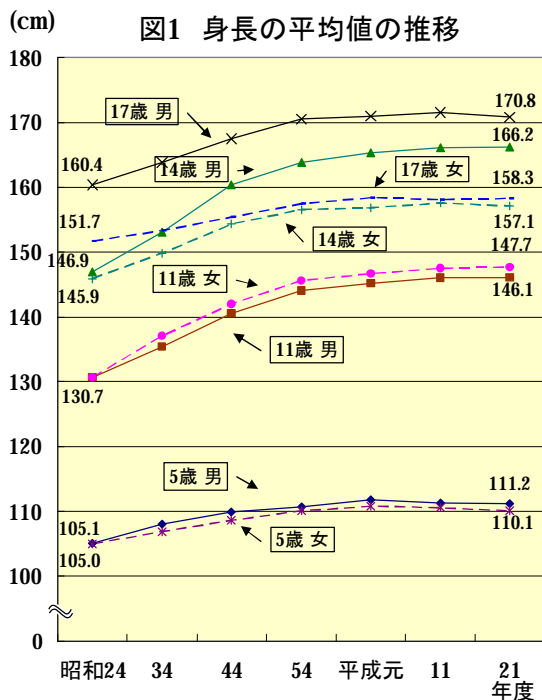


平成 21 年度学校保健統計調査速報(山形県) 調査結果のポイント

1. 「身長」及び「体重」の平均値の推移

身長は、全国平均の推移と同様、男女ともに昭和 23 年度以来増加傾向にあったが、ここ 10 年はほぼ横ばい傾向である。

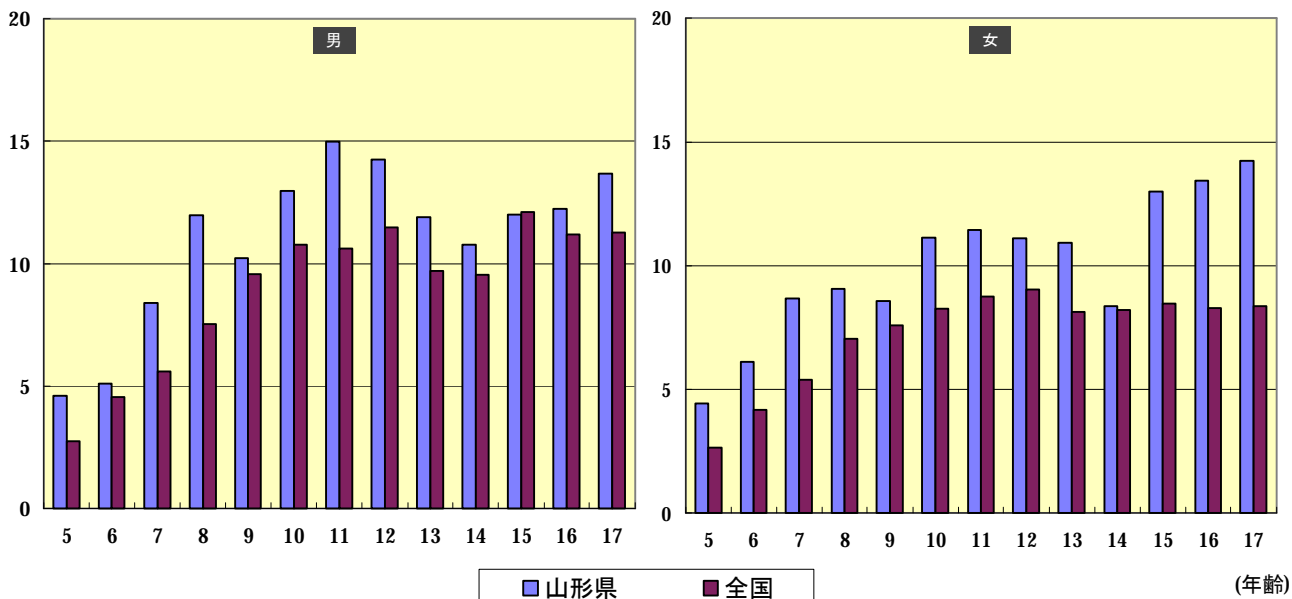
体重は、全国平均の推移と同様、男女ともに昭和 23 年度以来増加傾向にあったが、ここ 10 年では、減少傾向の年齢も見られるようになった。



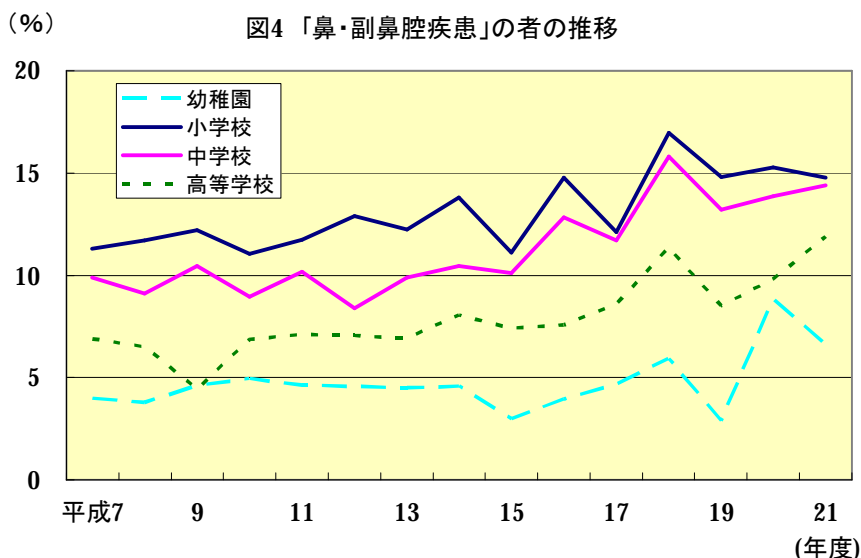
2. 「肥満傾向児」の出現率

「肥満傾向児」の出現率は、男子は 8 歳から 17 歳の年齢で、女子は 10 歳から 13 歳、15 歳から 17 歳の年齢で 10%を越えており、男子は 15 歳を除く全ての年齢で、女子は全ての年齢で全国平均を上回っている。

図3 年齢別肥満傾向児の出現率(平成21年度)

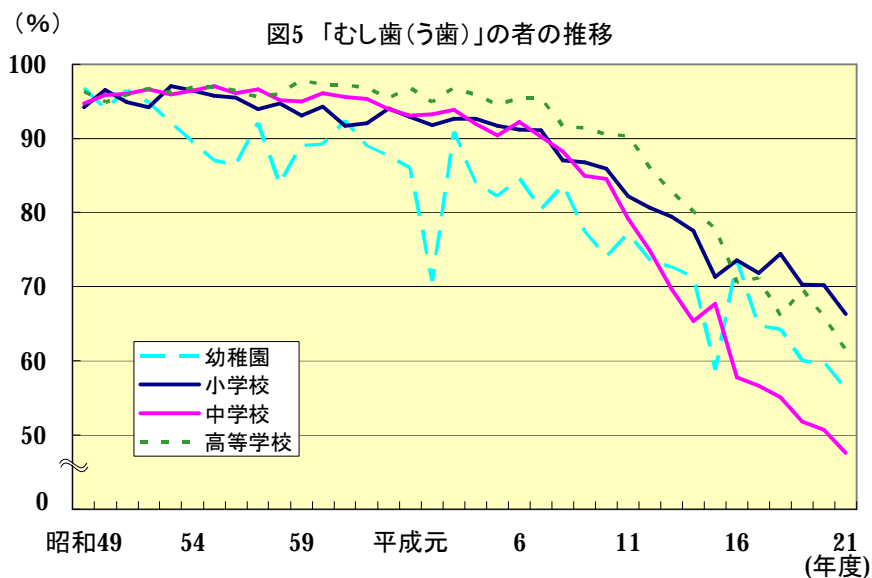


3. 「鼻・副鼻腔疾患」の者の推移



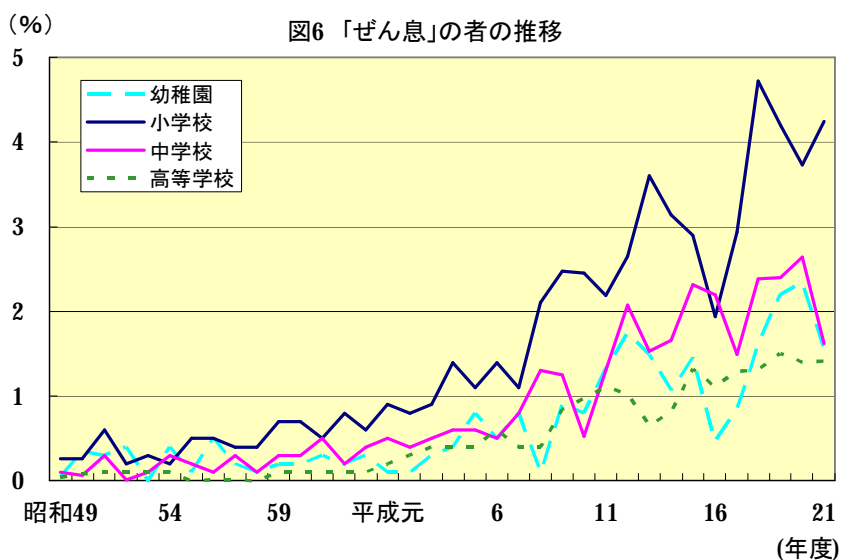
「鼻・副鼻腔疾患」(蓄のう症、アレルギー性鼻炎等)の者の割合は、全国平均の推移と同様、各学校段階において、わずかずつであるが上昇傾向にあり、幼稚園を除く各学校段階で 10%を超え、全ての年齢で全国平均を上回っている

4. 「むし歯(う歯)」の者の推移



「むし歯(う歯)」の者の割合は、全国平均の推移と同様、各学校段階において低下しており、特に中学校においては、近年 50%前後まで低下している。

5. 「ぜん息」の者の推移



「ぜん息」の者の割合は、全国平均の推移と同様、各学校段階において増加傾向にあり、特に小学校においては、近年3%を超える状況が続いている。